

神戸医療センター 病診連携だより

編集・発行：独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター
〒654-0155 兵庫県神戸市須磨区西落合3丁目1-1 TEL 078-791-0111

最新3D腹腔鏡手術システムを導入しました



消化器外科医長 平田 建郎

2013年4月から当科では積極的に腹腔鏡手術を導入し実施しております。胃癌、大腸がんなどの悪性疾患だけでなく、急性虫垂炎、腸閉塞などの急性、良性疾患にも可能な限り腹腔鏡手術を行っており、2014年からは鼠径ヘルニア、術後の腹壁癒痕ヘルニアなどにも腹腔鏡手術を積極的に導入しております。

腹腔鏡手術は腹壁に小さな穴を数カ所開けて、腹腔内に二酸化炭素ガスを注入し、腹壁と内臓組織との間に空間を作成します。この空間に腹腔鏡(テレビカメラ)を挿入し腹腔内を画像(モニター)に写し、残りの穴からマジックハンドの様な鉗子を腹腔内に挿入して行う手術です。

傷を小さくすることで術後の疼痛が軽減できます。テレビカメラを用い拡大視することで精緻な手術が可能となります。しかし、ここで問題となるのが直視下では可能な立体視(3dimension=3D)がテレビでは平面となり距離感がつかみ難いということです。モニターを見ながらの手術には平面から立体を想像する力(空間把握能力)が必要とされます。この力を鍛えることが必要不可欠です。しかしながらこの空間把握能力を鍛えるには時間がかかり、個人差も大きいと考えられます。

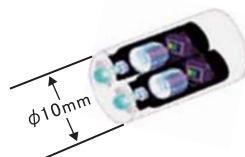
この度、当センターでは最先端の3D内視鏡システムを導入しました。3Dシステムを導入することで、手術経験年数、個人差に関係なく、手にとるような奥行き感がえられ、従来の内視鏡システムでは難しかった、より正確な空間把握が可能となりました。3D画像では組織の境界が明確となることから解剖理解の向上につながり、組織の把持、剥離、結紮、縫合などの作業が直感的にスムーズに行え、今までに増して手術精度の向上、手術安全性の向上、手術時間の短縮が可能となりました。

弘法筆を選ばずと言いますが、手術の弘法大師となるべく外科全員が努力を厭わず、良い筆は積極的に選んで活用していきたいと存じます。最新3Dシステムを導入した当外科をどうぞよろしくお願い申し上げます。



3D内視鏡システム

HD画質 小型カスタムCCDを左右に1枚ずつ搭載



着任医師のご紹介

4月1日に着任いたしました医師をご紹介します。
患者さんと連携医療機関の皆様から信頼され、選ばれる病院を目標として精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



外科医長 辻村 敏明

神戸大学医学部附属病院、白河厚生総合病院、済生会中津病院、国立明石病院、アルバータ大学、淀川キリスト教病院、兵庫中央病院などを経験して、この度神戸医療センターに勤務させていただくことになりました。
患者様にできるだけ高度で優しい医療を提供し、地域に貢献できるよう努力いたしますので、何卒宜しくよろしくお願いいたします。

内科医師 樫尾 和洋

4月から内科医師として就任いたしました樫尾和洋と申します。何やら計算機のような名前ですが、Gショックの会社とは無関係です。
3月までは神戸大学医学部附属病院で循環器内科医師として働いていました。出身も神戸大学なのですが、医師として8年目に再び大学から離れて、ここ神戸医療センターで、また新しい気持ちでのスタートをきれることを喜ばしく思っています。
病診連携を大切にしつつ患者さんの診療にあたりたいと考えております。至らぬ点もあるかとは思いますが、宜しくお願い致します。



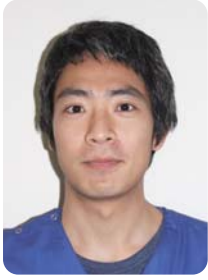
消化器内科医師 徳永 英里

4月から神戸医療センターで勤務させていただくことになった徳永英里と申します。平成23年に山口大学を卒業し、地元である神戸に戻ってきました。初期研修と後期研修は西神戸医療センターで、計5年間勤務しました。今年度で消化器内科医師として4年目を迎えます。途中、1年間ほど出産・育児で休んでいたため まだまだ経験不足ですが、消化器内科全般疾患の診療を頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

外科医師 田上 修司

大阪府箕面市生まれで平成14年に関西医科大学を卒業しました。卒業後は大学病院、北野病院、京都ルネス病院、東京西徳洲会病院、淀川キリスト教病院などを経て、平成28年4月から神戸医療センター外科に勤務させていただくことになりました。現在まで消化器外科の臨床一筋であり、消化器（特に大腸）の内視鏡手術を専門分野にしております。消化器外科医としてはまだまだ若輩の身ではありますが、地域の医療に貢献できるよう精一杯頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





外科医師 石田 潤

このたび外科・消化器外科の一員となりました、石田潤と申します。生まれは札幌、育ちは名古屋、大学で神戸に来て以降神戸を離れることなく今年で15年目となります。昨年度までは神戸大学肝胆膵外科の大学院生でした。当院外科には肝胆膵外科のスペシャリストの大先輩方がいるため、日々成長していけたらと存じております。須磨区、特に名谷界隈の医院の先生方には、お世話になることが多いかと存じます。消化器外科、肝胆膵外科疾患でお力添えができれば幸いです。私の外来日は水曜日です。よろしくお願い申し上げます。

整形外科医師 高田 佑真

初めまして。四月より神戸医療センターで働かせて頂くことになった高田佑真と申します。これまでは、神戸大学医学部附属病院、高槻病院、甲南病院などで外傷や人工関節などの治療に携わってまいりました。四月から神戸医療センターで働くことを楽しみにしております。地域の皆様と連携し、患者さんに安心して医療を受けて頂けるように頑張ります。慣れないことや分からないこともあり、ご迷惑をおかけする事もあるかと存じますが、御指導いただきますよう宜しくお願い申し上げます。



整形外科医師 河本 和泉

4月より神戸医療センターに赴任となった河本和泉と申します。整形外科4年目で、神戸大学の医局に所属しています。神戸市西区出身であります。地元近くで働くのは初めてなので、大変嬉しく思っています。近隣の先生方、開業の先生方に助けていただく機会が多くあると思います。まだまだ未熟でありご迷惑をおかけする事もあるかと思っております。宜しくお願い致します。

外科専修医 小倉 佑太

4月より消化器外科で勤務させていただく小倉佑太と申します。神戸大学を卒業後、西宮の明和病院で初期研修を行った後に、平成27年神戸大学肝胆膵外科に入局しました。昨年度は神戸大学医学部附属病院に勤務し、肝胆膵外科・食道胃腸外科で消化器全般の幅広い研鑽を積みました。まだまだ未熟で勉強中の身ではございますが、消化器外科分野において少しでも地域の皆様のお役に立てるよう日々の診療に邁進する所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。



整形外科専修医 佐々木 優

本年4月より整形外科に赴任してまいりました佐々木優と申します。私は平成23年に関西医科大学を卒業し、兵庫県立西宮病院で初期研修を行いました。25年より同院四肢外傷センターで主に救急・外傷診療に携わり、27年10月から28年3月まで神戸大学医学部附属病院整形外科で研鑽を積んでまいりました。これまでは整形外科の幅広い疾患の中でも、特に骨折などの四肢外傷を担当しておりました。忙しいながらも、責任あるこの仕事に大きなやりがいを感じています。一人でも多くの患者さんの力になれるよう日々精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。



整形外科専修医 長田 尚介

はじめまして、長田尚介(なおすけ)と申します。神戸の六甲高校を卒業し、愛媛大学で6年間過ごし、卒業後は県立西宮病院で2年間研修させていただきました。今年度4月から整形外科専攻医として勉強させていただきます。整形外科医としての第一歩を神戸医療センターで踏み出せることを大変嬉しく思っています。まだまだ至らない点ばかりではありますが、日々謙虚に、患者様から学び、還元できるように過ごしていこうと思っています。半年という短い期間ではありますが、よろしくお願いいたします。

放射線科専修医 辻田 有志

4月より当院放射線科で勤務させて頂くこととなりました、4年目の辻田有志と申します。昨年度は神戸大学医学部附属病院で画像診断、IVR、放射線治療と幅広く経験しておりました。当院は地域医療に従事しておられる先生方との連携が非常に良好であり、放射線科医としては大学病院ではあまり経験できないcommon diseaseの画像診断を経験する最適な場と考えております。まだまだ未熟ですが、私自身も地域医療に貢献できるよう精進致します。よろしくお願い申し上げます。



麻酔科専修医 若林 潤二

4月より、麻酔科専修医としてお世話になります、若林潤二と申します。このたび、神戸大学医学部附属病院から転勤となりました。4年前、研修医になりたてのころに、神戸医療センターでお世話になっていたため、非常に懐かしく感じております。まだまだ未熟ではありますが、麻酔科医として、当時お世話になった分、恩返しを出来ればと思っております。よろしくお願い申し上げます。

Cアーム型X線テレビ装置が稼働しました



放射線科部長 本山 新

このたび、当院はX線テレビ装置の更新を行い、平成28年3月より稼働しています。今回の装置は、東芝Ultimax-iという最新の装置です。42cmX42cmの大視野のフラットパネル(検出器)を搭載し、高画質で広範囲の撮影が可能です。またパルス透視・デジタル処理等の機能により、透視診断能力が向上し従前の60%の線量で検査を行えます。Cアーム型となっている為、多方向からの撮影が可能となり、患者様の負担が軽減できます。整形外科検査・胃透視・注腸・CF・ERCP・BFに最適の装置です。

新たに開始される嚥下造影検査の為、検査専用椅子・音声マイク・ビデオカメラ・解析ソフト等を用意しました。嚥下造影画像はDVDに書き込み、紹介の先生方へお渡することも可能です。

透視室は、少しでも患者様の緊張が和らぐよう暖色系の色調で統一し、壁には南国ビーチの風景を掲げています。またフロアを2色に分け機器等の接触防止を注意喚起し医療安全に配慮しています。



第7回市民向けがん講演会 「笑いは最高の抗がん剤」開催しました

261名
参加!!

がん相談支援室 副看護師長 細見裕久子／係長 稲垣有香

平成28年2月14日、昨日までの寒さが嘘のような小春日和の日曜日のバレンタインデー、名谷パティオホールにて、第7回市民向けがん講演会「笑いは最高の抗がん剤」を開催いたしました。



統括診療部長 岩崎武先生

テーマ：昨年の議題より

女優川島なおみさんで大きな話題となりました「肝内胆管がん」についてわかりやすくお話いただきました。

「病院1の
イケメン部長です」

第一声から大うけ!!

職員が作成いたしました「神戸医療センターがん関連の部門の紹介(23部門)」冊子も大好評をいただきありがとうございました。病院ホームページ(最新情報)に掲載しておりますので、是非ご覧ください。

京都大学大学院緩和ケア・老年看護学教授 がん看護専門看護師 田村恵子先生

テーマ：「希望は必ず見つかる ～がん看護専門看護師の活動を通して～」

「がんと闘う」から「がんと共に生きる」時代に変化していること、自分らしく生きるための意思決定の方法、“死”との対峙を通して“生き方”を考えるなど、幅広いお話をしてくださいました。



参加者の皆さまより

- ・ 希望が見つかりました。
- ・ がんの恐怖感が少し和らぎました。
- ・ 余命宣告を受けました。夫と2人きりでなんとか前に進まなければと必死で耐えています。毎日泣いて暮らしています。先生にもっと早くお会いしたかった。



いのちの落語家 樋口強 氏

テーマ：「笑いは最高の抗がん剤」

20年前、3年生存率5%と言われた肺がん(小細胞がん)となる。現在も抗がん剤治療による末梢神経障害の後遺症を抱えておられます。

ご自身のがん体験のお話と落語。初めから最後まで会場全体を笑いと涙でいっぱいにしてくださいました。

参加者の皆さまより

- ・ 久しぶりに心の底から笑えた! 笑いは最高!
- ・ がんを笑いにして、明るく楽しい生き方に感動しました。
- ・ 生きる喜びがわかりました。



がんになる人... その1 優しい人
その2 きれいな人
笑笑笑 その3 頭のよい人



企画・運営にご協力いただいた全ての皆さまにお礼申し上げます。

がん化学療法看護認定看護師

坂本智子（外来副看護師長）・青木康恵（5階東病棟副看護師長）

私たちは、日々化学療法を受ける患者・家族、そして院内で働く看護師を対象に、安全・安心そして安楽に治療が受けられるように、院内で活動しています。

外来では



外来には外来治療センター（病床：8床）があり、年間1400件の治療が行われています。治療室の看護師は、治療中の観察だけでなく、①自宅での過ごし方 ②身体の苦痛（副作用症状や、吐き気止めや痛み止めを我慢せずにしっかり使用できているか）③心のつらさ ④家族との関係 ⑤仕事 ⑥治療費 などで困っていることを支援しています。

統一した看護が提供できるように、1人の患者さんについて2名の看護師で検討しながら看護を提供し、また定期的に治療中に起こりうる症状について勉強会を企画しています。

治療を受けながら療養生活をしている患者さんとそのご家族の支援をしています。薬の副作用の観察・ケアや日常生活上の注意事項など説明し、実際に生活に取り入れられているか確認しながら、その人らしく生活できるように支援しています。

病棟看護師に対して、実際の投与場面や患者のケアを行う場面で、指導をしたり、相談を受けたりしています。

通院での治療が決まった患者さんに対して、外来の坂本副看護師長と連携しながら、不安なく通院治療を開始し、継続できるよう日々関わり、支援しています。

病棟では



院内教育
～看護の質向上のために～



2年目以上の看護師を対象に、安全な治療中の看護が提供できるよう、知識と技術の研修を実施して、合格した看護師が実際の治療を担当するようにしています。

その他に、新しい抗がん剤の導入時には、薬に関する知識と看護ケアについての学習会を行ったり、実際の投与場面で相談を受けたりしています。

平成27年度神戸医療センター地域医療支援病院運営委員会を開催しました



地域医療連携室長 三輪 陽一

このたび、平成27年度神戸医療センター地域医療支援病院運営委員会を、平成28年3月23日に、当センター会議室で開催しました。

委員長の須磨区医師会会長村上眞先生、神戸市医師会副会長佐野公彦先生、垂水区医師会会長数岡一吉先生、西区医師会会長多田安温先生、須磨消防署北須磨出張所前川和男所長、当センター倫理審査委員会委員伊藤由紀子様にご出席いただきご意見を賜りました。

委員会では、まず事務局より、紹介率・逆紹介率、地域医療連携室への紹介実績、救急受入患者数、地域の先生方が参加する研修会の実績、地域医療連携室への相談実績等、平成27年度の病診連携の実績、近年の状況を報告しました。紹介率、逆紹介率は地域医療支援病院の要件である50%、70%をそれぞれ満たし、救急受入件数につきましても、増加に向けてさらに努力していきたいことを説明しました。なお、紹介件数については、地域医療連携室発足より初めて10,000件を超える見込みとなり、地域の先生方のおかげと感じております。

続いて、当院の機能的（建物の老朽化等）・地域的（住民の高齢化等）な課題に対して、さらなる診療機能の向上および地域連携の強化を2本の柱として取り組んでいることを説明しました。診療機能の向上においては、27年度における診療科の充実（形成外科・糖尿病内科等）、外来環境改善の取り組みである脊椎側弯センターの開設、28年4月からの病理診断科の標榜等を、地域連携の強化においては、27年度におけるスタッフの増員・開業医訪問・在宅調整研修の実施、28年度からの医科歯科連携の強化、術前センターの開設（予定）等について、具体的な取り組みとして発表させていただきました。

また、建替も含めた当院の今後の展望について質疑応答があり、委員の先生方からも活発なご意見をいただきました。

当センターは、地域医療支援病院として、さらに地域に信頼される病院を目指してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

神戸医療センターからのお知らせ

● 「病理診断科」を標榜しました

当院では、臨床検査科の1部門として病理検査室があり、従前より常勤医1名（剖検医・病理専門医）と臨床検査技師3名（いずれも細胞検査士）で病理業務を担当し、年間約3,200件の組織診断、約3,000件の細胞診断、約90件の術中迅速診断、約15件の剖検（病理解剖）が行われています。

このたび、さらなる病理診断の精度向上を図るため、平成28年4月より兵庫県立健康生活科学研究所長前田盛先生を非常勤医として招聘するとともに、「病理診断科」の標榜を開始いたしました。

また、病理解剖・CPC（臨床病理検討会）等についても、さらに充実させていく予定としておりますので、よろしくお願い申し上げます。

● 生まれ変わるNICU

当院4階病棟には産科があり、生まれてくる新生児の中には呼吸管理等ケアが必要となる新生児もいます。現在、スタッフステーション奥にNICUを移動するための工事が行われております。完成後はガラス張りの部屋となり、スタッフの動線も改善され、NICUの機能がより向上する予定です。

もちろん、元気に生まれて、NICUを利用しないで済むのが一番です。しかし、必要な時に安心・満足の高い看護が提供できるように、1日も早い稼働を目指していきたいと思っております。

外来診療担当医表

診療受付時間 8:30~11:00

(平成28年4月1日現在)

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備 考 | |
|-----------------------|----------------------|-------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|--|-------|
| 内 科 | 初診(総合内科) | 清水 一也 | 福地 寛子 | 三輪 陽一 | 宮崎 博之 | 清水 雅俊 | 患者さんからの直接予約は受け付けておりません 紹介状をお持ちでない初診患者さんは、内科初診(総合内科)での診察になります | |
| | 再 診 | 衣笠 允雄 | 櫻尾 和洋 | 中山 文仁 | 高峰 佐智子 | 永礼 智基 | | |
| | 予約診(午前) | 徳永 英里 | 谷岡 洋明 | 清水 雅俊 | 三田 正樹 | 岡田 武哲 | | |
| | 予約診(午後) | | 三輪 陽一 | 清水 一也 | 三輪 陽一 | 福地 寛子 | | |
| 消 化 器 内 科 | | 清水 一也 | 谷岡 洋明 | 中山 文仁 | 宮崎 博之 | 徳永 英里 | | |
| | | 三田 正樹 | 宮崎 博之 | 清水 一也 | 三田 正樹 | 宮崎 博之 | | |
| | | 中山 文仁 | 酒井 太門 | 第2,4週 齋来 英俊 | | 谷岡 洋明 | | |
| | 午後診 | 朝治 直紀 | | | | | | |
| 循 環 器 内 科 | | 衣笠 允雄 | 櫻尾 和洋 | 三輪 陽一 | 高峰 佐智子 | 清水 雅俊 | | |
| | | | 高峰 佐智子 | 清水 雅俊 | 衣笠 允雄 | 岡田 武哲 | | |
| | | | 三輪 陽一 | 岡田 武哲 | 三輪 陽一 | 第2,4週 櫻尾 和洋 | | |
| | | | | 第1,3,5週 山内 由貴 | 伊藤 泰子 | | | |
| 呼 吸 器 内 科 | 原 夏実 | 土屋 貴昭 | 原 夏実 | 土屋 貴昭 | 桂田 雅大 | | | |
| 糖 尿 病 内 科 | 永礼 智基 | | | 永礼 智基 | 永礼 智基 | | | |
| 感 染 症 内 科 | | | | | | | | |
| 神 経 内 科 | | | 上中 健 | | | 神経内科は午後診(予約制) | | |
| 心療内科・精神科 | 休診 | 休診 | 竹内 克史 | 毛利 健太郎 | 休診 | 予約制(継続の方のみ) | | |
| 心理判定カウンセリング | | | | | 杉山 直緒子 | | 予約制(継続の方のみ) | |
| 緩和ケア内科 | | 山川 宣 | 山川 宣 | 山川 宣 | 山川 宣 | 山川 宣 | 完全予約制(通院の方のみ) | |
| 小 児 科 | 午 前 診 | 小林 明子 | 小林 明子 | 小林 明子 | 担当医 | 小林 明子 | 専門外来は午後から診察(予約制) | |
| | 午 後 診 [予約制] | 心工コー | 慢性疾患 小林 予防接種 | 乳児健診 | 腎臓 小林 | | | |
| 消 化 器 外 科 ・ 外 科 | 一 診 | 辻村 敬明 | 岩崎 武 | 岩崎 武 | 前川 陽子 | 辻村 敬明 | | |
| | 二 診 | | 平田 建郎 | 石田 潤 | 石田 苑子 | | | |
| | 三 診 | | 田上 修司 | | | | | |
| | 四 診 | | | 小倉 佑太 | | | | |
| 乳 腺 外 科 | 前川 陽子 (原則予約・再診のみ) | | 前川 陽子 | 前川 陽子 | | | 月曜日は予約なしの初診患者さんは診察しておりません (6ヶ月以上受診されていない方も含む) | |
| 整 形 外 科 | 一診(初診) | 川北 晃平 | 乾 義弘 | 蔵川 拓外 | 堂垣 佳宏 | 鈴木 哲平 | 側弯症外来、骨粗しょう症外来の担当医は当日決定します 手術のため、担当医を変更することがあります 水曜日は初診と予約(背椎側弯センター)のみの受付です 側弯症外来は午後4時からとなります(予約制) | |
| | 二診(再診) | 鈴木 哲平 | 川北 晃平 | | 乾 義弘 | 堂垣 佳宏 | | |
| | 三診(再診) | 蔵川 拓外 | 骨粗しょう症外来 (14:00~15:00) | | | | | |
| | 背椎側弯センター (2F) | 午前 宇野 耕吉 担当医 (16:00~17:00) | 午後 担当医 (16:00~17:00) | 宇野 耕吉 担当医 (16:00~17:00) | 宇野 耕吉 担当医 (16:00~17:00) | 宇野 耕吉 担当医 (16:00~17:00) | | |
| 形 成 外 科 | 休診(手術日) | 輪湖 雅彦 | 輪湖 雅彦(予約のみ) | 休診 | 輪湖 雅彦 | 午前中のみ | | |
| 脳 神 経 外 科 | 高本 剛 | 休診(手術日) | 高本 剛(初診のみ) | 高本 剛 | 高本 剛 | 水曜日は初診のみ | | |
| 呼 吸 器 外 科 | 第2,4週 田中 雄悟 | 休診 | 休診 | 法華 大助 | 休診 | 午後診のみ(予約制) | | |
| 皮 膚 科 | 午前診 | 山本 篤志 | 内村 友佳 (予約・紹介のみ) | 山本 篤志 | 休診(手術日) | 山本 篤志 (予約・紹介のみ) | アレルギー外来、漢方外来は予約制となり、患者さんからの直接予約は受け付けておりません 火曜日・金曜日は「紹介状を持参された方」又は、「ご予約の方」のみの診察になります | |
| | 午後診 | アレルギー外来 | | | | 漢方外来 | | |
| 泌 尿 器 科 | | 大岡 均至 (受付10時半まで) | 予約患者のみ 特殊検査処置 | 大岡 均至 | 予約患者のみ 手術日 | 大岡 均至 (受付10時半まで) | 月曜日、金曜日の受付時間は10時半までです 火曜日、木曜日は予約患者さん以外の方の診察はできません 担当医が変更になることがあります | |
| 産 科 ・ 婦 人 科 | 診察室1 | 武内 享介 (予約) | 担当医 (初診・再診) | 杉本 誠 (初診・再診) | 武内 享介 (初診・再診) | 担当医 (初診・再診) | 火曜日、金曜日の受付時間は10時半までです 神戸市子宮癌検診は神戸市在住、20歳以上の方で、平成28年4月1日~平成29年3月31日の期間に偶数年齢になる方が対象です | |
| | 診察室2 | 午前 吉田 愛 (初診・再診) | 午後 武田 晃子 (予約) | 武田 晃子 (予約) | 杉本 誠 (予約) | 武田 晃子 (予約) | | |
| | 産褥健診 | | 吉田 愛 (予約) | 担当医 (15:30~16:30) | 武田 晃子 (予約) | | | |
| 眼 科 | 藤岡 久美子 | 休診(手術日) | 視野検査 | 藤岡 久美子 | 中村 礼恵 | 藤岡 久美子 | | |
| 耳 鼻 い ん こ う 科 | 午前診 | 黒田 浩之 (予約のみ) | 黒田 浩之 (予約・紹介のみ) (受付10時半まで) | 休診(手術日) | 黒田 浩之 (予約・紹介のみ) (受付10時半まで) | 黒田 浩之 (予約のみ) | 耳鼻咽喉科の診療については、「紹介状を持参された方」又は、「ご予約の方」のみの診察となります 火曜日、木曜日の受付時間は10時半までです 第2,4週の火曜日はチーム回診により、診察を一時中断するため、待ち時間が多くなる場合があります | |
| | 午後診 | | 第2,4週 チーム回診 | | | 特殊検査 | | |
| 放 射 線 科 | | 本山 新 | 本山 新 | 本山 新 | 本山 新 | 本山 新 | 毎日放射線治療の依頼を受け付けます | |
| | | 森田 吉多佳 | 森田 吉多佳 | 森田 吉多佳 | 森田 吉多佳 | 森田 吉多佳 | | |
| | 放射線治療 | | | 西川 遼 | | 佐々木 良平 | | 完全予約制 |
| | 化学療法 | 森田 吉多佳 | 森田 吉多佳 | 森田 吉多佳 | 森田 吉多佳 | 森田 吉多佳 | | 完全予約制 |
| IVR | 小出 裕 | | | | 片山 直人 | | | |
| CT・MRI診断 | 森田 瑞穂 | 本山 新 | 本山 新 | 森田 瑞穂 | 本山 新 | 本山 新 | 月~金曜日 随時受付 | |
| リハビリテーション科 | | | | | | 川北 晃平 | | |



独立行政法人 国立病院機構

神戸医療センター 地域医療連携室

〒654-0155 神戸市須磨区西落合3-1-1

TEL : 078-795-6584 (直通) FAX : 078-795-6591

http://www.kobemc.go.jp

開室時間 月~金曜日 午前8時30分~午後7時00分(祝日・年末年始を除く)

- 神戸市営地下鉄名谷駅から徒歩15分
- 神戸市営バス「神戸医療センター前」すぐ
- 山陽バス「神戸医療センター下」徒歩3分

